

令和4年度

事業報告書

社会福祉法人 やまなみ会

(施設名) ゆほびかデイサービスセンター

## 目 次

### I はじめに

- II 1. 基本事業
- 2. 目的、基本方針

### III 全体状況報告

- 1. 目標に対する報告
- 2. 利用者の状況
- 3. 職員の状況
- 4. 入浴支援
- 5. 機能訓練
- 6. 健康管理
- 7. 送迎及び家族との交流
- 8. 年間行事
- 9. 職員研修

### IV 次年度提起

## I はじめに

当事業所は地域密着型として地域の方々がいつまでも住み慣れた地で日常生活が続けられるよう日常生活支援や生活機能訓練を提供し利用者の心身機能の向上と介護を受け持つ家族の負担を軽減できるよう同建物内のサービス付き高齢者向け住宅や地域の関係機関と連携を密に自宅以外で外出の機会が減った利用者や入浴が困難になった事業対象者、要介護者などの受け入れを行い、各ニーズに対応できるデイサービスを目指し取り組んできた。

## II 1 基本事業

送迎、入浴、食事サービス、生活指導、機能訓練、口腔機能向上訓練、レクリエーション、相談・助言に関する事

### 2 目的・基本方針

在宅で要支援、要介護状態となった対象者にデイサービス各種のサービス（送迎、入浴、食事、健康チェック、レクリエーション、機能訓練、）を行い、在宅での閉じこもり防止、社会的孤立感の解消、心身機能の維持向上に努めた。

通所個別援助計画に基づきご利用者に1日過ごしていただくよう努め評価を行い、状態にあわせて計画の変更、持続を行った。計画変更のご利用者が多く、それぞれに応じて再検討することができた。

## III 全体状況報告

### 1 目標に対する報告

#### ○アクティビティ要素の取り組み

屋上での菜園活動を取り入れた事でコロナ禍でも開放的な空間でストレスを軽減でき、野菜の収穫を楽しむなど有意義な活動となった。収穫後の野菜はグリーンピースの皮むきなどの下処理もプログラムの一環とし日常生活訓練としても意味のあるものになり、施設内で調理・実食、家族様へ提供した事から利用者様と家族様のコミュニケーションのきっかけにもなっている。マンネリ化を防止するため施設内にとどまらず毎月外出の機会を設け地域散策や買い物を通じた社会交流、不整地での歩行訓練を行うなど工夫。新型コロナウイルスでは特定の感染対策を行う中、当活動も心身のリフレッシュに繋がったと感じている。利用者様の横のつながりで利用希望者が増えてきていることから、アクティビティ活動を通じてゆほびかの魅力も発信できていることがわかった。他法人との明確な差別化を実現するための見極めにしっかり向き合い定期的にサービス内容を振り返り利用者の各ニーズの達成を図りながら興味を引く活動内容をアピールし、早期の改善目標の達成を実現したいと思います。

## 2 利用者の状況について令和4年度利用者数（定員18名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
介護	245	214	226	249	279	290	327	314	269	140	224	252	3,029	252
予防	58	58	65	63	62	60	54	55	67	36	62	66	706	58
自費	15	16	15	22	23	22	21	14	14	15	19	16	212	17
計	318	288	306	334	364	372	402	383	350	191	305	334	3,947	327

前年度	305	282	285	282	260	239	249	256	277	257	246	272	3,210	248
-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-------	-----

令和4年1月～2月にかけてコロナウイルス感染者発生に伴い利用率低下。

### 3 新型コロナウイルス感染対策について

- ア 飛沫防止パーテーションを設置（受付、食堂）、定期的な換気
- イ オゾン発生装置の設置、一つのケアにつき手洗い及び消毒
- ウ 浴室内の利用に定員を定め密集を防ぐ
- エ 送迎前に検温。職員は出退勤時に検温（37、2℃以上は利用及び出勤を禁止しPCR検査を受ける）次年度は発熱が無くとも週に1度はPCR検査を受ける。
- オ 設備の消毒を1日3回（手すり、ドアノブ、テーブル、リフトのボタン）

### 4 職員の状況について

- ア 新型コロナウイルスの対策につき、リスクに対応する職務が精神的に負担とする状態が続いているため、ストレス軽減を図る事を目的にヒヤリングを欠かさずいつでも相談できる環境づくりを行った
- イ ヒヤリング時に個人の目標・やってみたい事を聴取し年間を通して達成を共に目指し、明確なやりがいを持つ事で退職率を低減できた
- ウ 非常勤職員においても各委員長として選任し責任性を持ち各分野で一つの長とし輝ける環境を整備した
- エ 欠員時の職員採用に伴い人材紹介会社の活用が中心となってしまう。紹介手数料のコストが大きな支出であるため次年度では離職率を抑え、安定した運営に努めていく。

## 5 事故報告

発生場所	事故件数	詳細
フロア	1件	ベッドからずり落ち
その他	0件	
計	1件	
内受診	0件	様子観察(その後異常なし)
内入院	0件	

## 6 苦情

苦情内容	件数	対象者数
入浴を一番して欲しい	6件	3名
職員の言葉がきつい(接遇)	1件	1名
お休みの連絡をしたのに迎えがあった	1件	1名

## 7 入浴支援

要介護者はもちろん事業対象についても入浴をニーズしている利用が多く年々在宅での入浴が困難な利用者が増加し通所での入浴需要が高い状況。今後入浴を楽しみにしている利用者への対応において安定した入浴支援が受けられるよう営業時間の拡大を検討していく。

## 8 機能訓練

基本体操、集団体操、タオルを使った体操、自力体操、パワーリハビリ、個別機能訓練等を行い生活・身体機能の向上が出来るように努めた。機能訓練では利用者自身も身体を動かす事で心身のリフレッシュに繋がった。

## 9 健康管理

通所の利用毎に健康チェックを実施し、病状等の変化がないか観察を行い急変前に早期発見に努める事ができました。健康管理を通じ、変化があった際の関係機関（家族、病院、担当居宅）との連携を密に取り組むことができた。

## 10 家族との関わり

家族様とは送迎時に一日の様子等の報告を通して連携を行っているが、通所でどのような活動をしているか可視化できないため運営推進会議時に活動の様子や制作動画を動画で披露した。中には感動から涙を流される家族様もおられたため、動画・写真を毎月撮影し運営推進会議・懇談会で披露する事で「風通しが良く、活動状況がわかりやすい」を目標に今後も取り組んでいく。

## 8 年間行事

4月	外出行事（花見）、誕生会
5月	誕生会、外出行事、運営推進会議・懇談会
6月	誕生会、外出行事、防災訓練
7月	夏祭り、誕生会、七夕
8月	そうめん流し、誕生会、外出行事
9月	誕生会、敬老会、外出行事
10月	外出行事、防災訓練
11月	外出行事、誕生会、運営推進会議・懇談会
12月	クリスマス会、誕生会、柚子湯
1月	外出行事（初詣）、誕生会
2月	節分、誕生会、外出行事
3月	誕生会、外出行事

## 9 職員研修

4月	介護予防、社会保障制度/接遇について
5月	感染症について（食中毒）/法令遵守
6月	防災訓練
7月	介護技術研修/社会保険料の仕組みと自己啓発について
8月	プライバシー保護について
9月	包括支援センター地域事例検討会（看護
10月	感染症について（インフルエンザ）
11月	認知症の基本理解と家族の心理について
12月	包括支援センター地域介護技術研修会
1月	重介護の対応/事例検討会
2月	適正な記録の書き方について
3月	接遇、虐待や権利擁護について

## IV 次年度の提起

- a 随時サービス内容を見直し利用率の定着や利用者のニーズを達成できるよう取り組んでいく。
- b 利用者獲得として魅力あるサービスと質の高い支援・サービスの実施これらを周辺地域に発信する力や工夫を行っていく。
- b お泊りデイサービスを積極的に活用する
- c 人材の確保が出来るよう研修やヒヤリングを実施。